

事業コード	12010205	政策コード	12	政策名	男女共同参画社会の形成
事業名	イキイキ男性変身サポート事業	施策コード	01	施策名	男女共同参画社会の実現に向けた実践行動の促進
		指標コード	02	施策目標(指標)名	実践行動の促進
部局名	生活環境部	課室名	男女共同参画課	班名	調整・参画推進班
				(tel)	1555
				担当課長名	山脇幸美
				担当者名	齊藤勲信

評価対象事業(計画)の内容 事業年度 平成25年度 ~ 平成25年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 国の社会生活基本調査によると、共働きをしている夫婦の家事、育児、買い物に係る時間を比較した結果、妻の1日あたり平均4時間27分に対して、夫は56分と著しく負担が偏っている。このため、男性が家庭に関わる時間を増やしていけるよう積極的な実践行動を行い、男女共同参画の理解を深める必要がある。また、東日本大震災を契機に地域防災計画の見直しが進められていることから、災害時における男女共同参画の視点に配慮した防災や被災者支援等について実践的な行動の推進を図る必要がある。

2. 住民ニーズの状況
①ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: H24 年 11 月)
②ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に)
③ニーズの具体的内容
 アンケートの意見として、防災・被災をテーマとした男女共同参画の推進は今後も継続して欲しいとの意見があったこと。また、男女共同参画審議会において、委員から男性が育児に係ることが必要な旨の意見があったこと、今年度まで実施している男性が家事等を行う事業の効果も高く、継続して行った方が良いとの意見が多数あった。

◎把握していない場合の理由及び今後の方針
①理由
②今後の方針

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)
 男性が、子育て、介護、家事等へ積極的に参加することと、男女共同参画の視点を取り入れた防災への取組を行うことにより、男女共同参画の推進を図る。
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

4. 目的達成のための方法
①事業の実施主体 県
②事業の対象者・団体 県民
③達成のための手段
 各男女共同参画センターの指定管理者に委託してコーディネーターを雇用し、市町村や住民やあきたF・F推進員等と連携し事業を企画し、講座、ワークショップ等を実践的取組を交えて実施する。

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 各男女共同参画センターに委託することにより、既に構築されている市町村等とのネットワークを活用することができる。

5. 事業の全体計画及び財源		単位(千円)							
順位	事業内訳	左の説明	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	全体(最終)計画
01	イキイキ男性変身サポート事業	県内3カ所の男女共同参画センターでコーディネーターを雇用し、市町村や地域の住民等と連携し、男性の子育て、介護、家事、地域防災についての実践的な取組を行う。	10,882						
財源内訳		左の説明	10,882						
国庫補助金									
県債									
その他		緊急雇用創出等臨時対策基金等	10,882						
一般財源			0						

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 家庭における、男性の子育て、介護、家事等を積極的に進め、男女共同参画を推進させる。

指標名	「男は仕事、女は家庭」という意識への反対意見の割合	指標の種類	
指標式	「男は仕事、女は家庭」という意識への反対意見を有する者の数/全有効回答者数 (%)	● 成果指標 ○ 業績指標	

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
目標a			55.4					
実績b	41.5		②データ等の出典					
東北	県民意識調査							
全国								

③把握する時期 ● 当該年度中 10 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月

指標名	男性の子育て等をテーマにした男女共同参画センター利用登録団体数	指標の種類	
指標式	男性の子育て、介護、家事をテーマにした男女共同参画センター利用登録団体数	● 成果指標 ○ 業績指標	

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
目標a			3					
実績b	0		②データ等の出典					
東北	男女共同参画課調べ							
全国								

③把握する時期 ● 当該年度中 03 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 共働き夫婦の夫の家庭に関わる時間は短く、男女共同参画の理解に向けた男性に対する実践行動を進める必要がある。また、重要性が再認識された男女双方の視点を取り入れた防災への取組を進めることは、男女共同参画社会の形成という政策目的に合致している。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 アンケート結果及び男女共同参画審議会の意見を踏まえた事業であるので必要性は高い。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

条例で、県が男女共同参画の推進に関する施策を総合的に策定し、実施する責務を有する旨が規定されている。

政策評価委員会意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

○ 重点事業 ○ その他